

副園長日記

R4.9.16



不定期で発行している「副園長日記」ですが、第1号の発行から、かなり期間が空いてしまいました。書きたいことがいっぱいたまってきたので、2学期は少し発行回数も増やしていきたいです。

置き去り事故について思うこと

静岡県牧之原市で起こった幼稚園バスの置き去り事故、その後の報道を見るのも苦しいほど、悲しくてショックな出来事でした。暑さをしのぐために水筒のお茶を飲んだり、服を脱いだりしていた形跡があると聞き、胸がしめつけられるようです。きっとこの子は「先生が迎えにきてくれる」とぎりぎりまで信じていたのだと思います。同じ幼児教育に携わるものとして本当に残念でならない事故でした。亡くなったお子様のご冥福をお祈りいたします。

今回の報道を受け、幼稚園でも職員で子どもの安否確認について話し合いをしました。

例えば、朝には

- ① 園児玄関で園長・副園長が、園児が無事に登園したことを確認する。
- ② 事務室では、欠席連絡をみんなが確認できるところにメモをする。
- ③ 養護担当が欠席者を確認する。
- ④ クラス担任が欠席者・遅刻者を確認する。
- ⑤ 欠席者情報を職員で共有する。

などを行っていきます。職員は人数点呼をすることを日常化することで子どもの安全を守るようにしています。

また、園外保育でバスを利用することもあります。そのような時には、

- ① バスの乗り降り、トイレ休憩の前後には担任が人数点呼をしてから次の行動をする。
- ② 引率者のなかで、バスの点検係を決めておき、子どもが降車した後は座席だけでなく、座席の下なども確認して忘れ物をチェックする。



などを行います。これは、本園だけが特別手厚くやっているわけではなく、どの園や学校でも行われていることなのです。

では、なぜこのような痛ましい事故が起こるのでしょうか。今年の春に全職員で行った安全研修では、「ヒューマンエラー」について学びました。どんなに事故防止の対策を考えていても、それを実行するのは人間である。人間だからこそミスが起こる。そのミスが重なってしまったときに今回のような痛ましい事故が起きる可能性があるというものでした。

「私はミスをするかもしれない。だからこそ、より一層の確認をする。」と、1人1人がしっかりと自覚していくことが大切だと考えます。

来週の運動会に向けて、子どもたちは毎日元気よく走ったり、踊ったりしています。放送席で子どもたちの様子を見守りながら、この笑顔をけって失うことがないように、気を引き締めていかななくてはと思っています。

壁面飾りに愛をこめて！

子どもたちが降園後、先生たちはたくさんのお仕事をしています。保育室の掃除や片付け、消毒はもちろんのこと、翌日の保育の準備や打合せなどを行っています。月末には、園の壁面の飾りを一斉に変えていきます。保育室や廊下の壁、保育室出入り口の上、園児玄関の掲示板などたくさんの場所の掲示を一斉に変えていくのです。それぞれ担当の先生の個性も垣間見え、いつも楽しみにしています。

コロナ禍になり、園舎内に入っていたことがなかなかできないのですが、機会があれば、壁面の飾りも楽しんで見てください。今はパソコンで簡単に画像を取り入れて飾りができます。しかし、子どもたちに制作の楽しさを知ってもらいたいと、あえて色画用紙や和紙、毛糸など様々な材料を工夫して作っています。先生たちの愛情こもった作品ばかりです。

